

第 17 回 電子情報化委員会 議事録（案）

日 時：2005 年 5 月 11 日（水） 17:30～20:15

場 所：JCI 会議室

出席者：野口委員長，中村幹事，金久保幹事，秋山，甲斐，田嶋，田所
（事務局）井上，戸口（JP）久保田

資 料：

17-0 電子情報化委員会（第 17 回）議事次第

17-1 第 16 回電子情報化委員会議事録（案）

17-2-1 コンクリート工学年次論文集 Vo.27 査読委員会電子査読アンケート

17-2-2 コンクリート工学年次論文集フォーマット案（フォント大）

17-2-3 コンクリート工学年次論文集フォーマット案（フォント小）

17-3-1 メールニュースの登録画面について

17-3-2 メールニュース配信作業フロー

17-4 委員会 HP 流れ（案）

議 事：

1．前回委員会議事録確認

資料 17-1 に基づき、前回議事録が確認された。また、前回議事に関連し、以下の検討を行った。

- ・ 年次大会論文集の講演申し込みの必要性については、前回確認通り査読委員会の判断に任せるが、タイミングとしては 8 月の年次大会委員会に提案する必要がある。なお、講演申し込みを無くした場合は、作業の関係で、論文投稿締切日の再検討を要する可能性がある。
- ・ コンクリート工学誌のデジタル化は将来のコンテンツを考えた場合必須と思われるので、野口委員長が編集委員長と話をすることとした。

2．年次大会（名古屋）について

特に問題なく作業が進んでいることが、事務局から報告された。なお、CD 版論文集に関し以下の検討を行った。

- ・ CD 版論文集については、今年度までは Me と 98 も動作確認し対応するが、次年度以降についての対応を今後検討する必要がある。
- ・ フォントが埋め込まれてない論文は全体の 4 割あり、フォント埋め込み方法の説明について、次年度再度工夫する必要がある。

3．査読システムの改善について

資料 17-2-1 に基づき、金久保幹事から査読委員会へのアンケート結果について説明が行われ、以下のように対応することとした。

- ・ 特定の機関からシステムに入ることが出来ない問題については、調査・対応をすることとした。
- ・ 入力作業中に、時間制限エラーが出る問題については、調査・対応をすることとした。
- ・ 査読者が論文名を常に確認できるよう、査読入力画面上に常に論文名を表示することについては、可能かどうかを検討する。
- ・ その他の意見に対しては、特に対応しないこととした。

4 . J C I の広報、研究、委員会関係など全般の電子情報化の方向性

(1) メールニュースについて

資料 17-3-1 に基づき田所委員から、登録画面の検討結果が示され、以下のことを決定した。

- ・ 配信対象は、特に制限しないこととした。
- ・ 氏名、会員番号、所属、業種などは個別に入力項目としないこととした。所属、業種は、キーワードの項目で対応させる。
- ・ 登録削除の項目を作る。
- ・ キーワードを含む登録画面イメージを田所委員が5月中に作成し、各委員の意見を聞く。6月の理事会にメールニュース配信の提案をするため、6月15日までに提案資料を完成させる。

資料 17-3-2 に基づき金久保幹事から、配信作業フロー案が示され、以下のことを決定した。

- ・ メールニュースは、当面、会誌の目次・会告原稿となるので、配信はコンクリート工学誌発送後、2週間後に行う。また、会誌発送後10日後ぐらいまでにwebへの登録作業を事務局が行う。
- ・ メールニュース作成の担当委員は順番制とする。
- ・ 目次などを使用することについて、編集委員会に了解を得る。

(2) ホームページの改善について

資料 17-4 に基づき、秋山委員から委員会 HP 作成フロー（案）について説明が行われ、以下のことを決定した。

- ・ 各研究委員会の HP を作成することについて、6月初旬の研究委員会で検討してもらおうよう野口委員長から研究委員会委員長に依頼する。
- ・ HP の定型を秋山委員が作成し、研究委員会の資料とするために5月25日までに事務局に提出する。
- ・ HP の定型は、設立趣意書、委員一覧、当面のスケジュール、関連写真数枚で構成する。
- ・ 各研究委員会の HP 定型については、事務局が作成する。以降の更新が各研究委員会で不可能な場合以外は、以降の更新ならびに定形外の HP の作成は、各研究委員

会に対応してもらふこととする。

- ・ JCI の第 2 サーバーへのアカウントは、一ヶ月程度かかるため、第 2 サーバー上の HP を各研究委員会が変更する場合は、それ以降となる。

(3) その他の電子化事項

資料 17-2-2 , 17-2-3 に基づき、年次大会論文集の英文論文のフォーマットについて検討した結果、フォントサイズを 12pt から 11pt へ変更した方がよいとの意見を査読委員会に伝えることとした。また、和文論文についても CD 版論文集が正規の論文 (A 4 版) になったことから、フォーマットを再検討した方がよいとの意見を査読委員会に伝える。

5 . その他

- ・ 次回日程

7月6日(水) 17:30 ~

以上

(記録 : 中村)